

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら久未教室

保護者等数(児童数)35 回収数 25 割合 71.4%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	25件	0件	0件	0件	・工夫されている・楽しく遊んでいる様子	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	24件	1件	0件	0件	・困り事に応じて相談と対応をしてもらっている・とても満足している・新しい先生の専門性は分からない	保護者会で、新しい職員の紹介を行っている。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	23件	2件	0件	0件	・階段で転んでも痛くないように整備されている	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	25件	0件	0件	0件	・子供の特性に合ったプログラムだと思う・先を見据えての計画がされている	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	24件	1件	0件	0件	・いろいろな経験をさせて載っている・その時の学校の課題も取り入れてくれている	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	11件	11件	3件	0件	・小学校で交流しているのだからこぼん以外の子供と活動することがあるのかどうか分からない・近くの高齢者施設との交流の様子を聞いている	
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25件	0件	0件	0件	・丁寧に聞き合っている・とても細かく本人に寄り添ったアイデアや支援を考えてくれている・分からない事はすぐに教えてもらっている	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	25件	0件	0件	0件	・リズムをいつも丁寧に書いて頂いて活動の内容が明確に共有されている・リズムやメール、送迎時等様々な機会でも伝えてもらっている・定期的な面談をして課題を決めている	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24件	1件	0件	0件	・毎回たつぷりの時間をとって面談を頂いている・的確なアドバイスを頂いている	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	22件	2件	1件	0件	・保護者会の内容は非常に良い・オンライン開催で有意義な話を聞く事ができたし、意見交換できた	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	21件	4件	0件	0件	・気が付いたことは早期連絡してくれる	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24件	1件	0件	0件	・とてもできている	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	25件	0件	0件	0件	・SNSや動画配信で定期的に活動内容などきちんと発信されている	
14 個人情報に十分注意しているか	24件	1件	0件	0件	・問題に思ったことは無い		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	24件	1件	0件	0件	・保護者だけでなく子供たちにも分かりやすく自己意識を持たせてくれている	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	24件	1件	0件	0件	・行われている・定期的に訓練の日がある	
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	23件	2件	0件	0件	・とても楽しんでいる・やりたい事をかなえる努力をしてくれる・学校は休んでもこぼんには通うことができる日が何日もあった	
	18 事業所の支援に満足しているか	25件	0件	0件	0件	・子供の特性も良く理解してもらっていてとても満足	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら久末教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	25件			
	2 職員の配置数は適切である	25件		人が足りないときは、活動内容を変更して安全に過ごせるように職員間で協力している。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	25件			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	25件		企画ごとのPDCAに取り組んでいるが、企画全ての振り返りができないことがある。月に一回の職員会議で共有しているほか、各チームで行うこともある。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	25件			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	25件		本部HPで公開している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	23件		本部のSVの方が定期的に訪問してくださり、アドバイスをいただいている。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	25件		教室内の勉強会のほか、各自が所属している学会や研修会などに参加している。その内容について共有し、療育に活かせるようにしている。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	25件		面談時のお聞き取りの他、教室内で発達検査、言語検査、学習の検査を行っている。毎日の療育活動でのランニングアセスメントとともに、客観材料となる検査も活用して分析と計画を行っている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	25件			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	25件		毎月のプログラムについてチームで作成している。担当者は、3月に翌年1年間の担当を決めているため、見直しを持って立案、計画、準備ができる。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	25件		何度も繰り返して行いたい活動もあるため、角度を変えて提供することに苦労している。アイデアが固定化しないように、日々情報を収集することも大切にしている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	25件		準備のための時間を確保し、意見を出し合っている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	25件			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	23件	2件	日々の療育の準備や打ち合わせを朝行っているが時間が十分に確保できないことがある。	支援を行った後すぐにフィードバックを行い、子どもの最新情報を反映させて次回の準備を行っておく。当日の朝にあわてないように準備を行う。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	25件		個別でのフィードバックや終業で共有している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	25件		支援経過記録は徹底している。個別支援計画書き換え時に検証材料になっている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	25件		6か月に一度をめぐりに全員に対して行っている。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	25件				
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	25件		管理者・児発管が参加している。		
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	25件		毎月の学校便り、年度開始時の学校の情報について共有をお願いしている。	年度初めの開放し(こぼん便り)で改めて周知する。	
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	23件	2件	ご依頼があった場合は、必ず実施している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				まだ事例がない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	25件		研修の周知は全職員に対して行っている。常勤非常勤の別なく研修参加した。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	23件	2件	保護者様の中には、多園のお子様との交流を望まない方もいらっしゃるため、積極的な交流は行っていない。コロナ禍で、多くの人の交流が難しい。公園などでは自然な交流ができています。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	25件		参加している。コロナの影響で会合が自粛されている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	23件		保護者同士の交流、勉強会、相談は多く首方の要望があるため、具体的な実施に向けての意見を出し合っている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	17件	8件	保護者のニーズがあり努力しているが、顧客満足に至っていないと思われる。ペアレント・トレーニングなどの参考図書を紹介や、会報誌を活用して必要な情報の提供を行っている。	保護者同士の交流、勉強会、相談は多く首方の要望があるため、具体的な実施に向けての意見を出し合っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	25件		契約時に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	25件		相談がある場合は、必ず返答するようにしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	25件		年に一回の保護者会を実施している。	保護者会だけでは不十分なこともあるため、どのような方法で保護者同士の連携を深めていくのか方法を模索している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	23件	2件	ご意見ご要望があるときは、真摯に対応できるようにしている。LINE、メール、連絡帳、電話など様々な手段で相談できるように提供している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	25件		毎月こぼん便りを発行して、活動報告を行っている。保護者会では、各部門で動画や写真を編集して公開している。	
	35	個人情報に十分注意している	23件	2件	留意しているが、個人情報の認識が統一されていない。	新人教育時に個人情報についても取り上げるようにしていく。既存職員に関して
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	25件		各家庭の状況に合わせて個別に対応している。個別支援計画をひらがなで書いたり、英語やその他の外国語で書く等の対応をしている。	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		8件	高齢者施設と交流がある。ご近所のお付き合いを中心に、お付き合いをしている。事業所に外部者が出入りすることに抵抗感を持つ保護者様もいらっしゃるため、地域交流は慎重に行っている	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	20	5件		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	25件		集団プログラムを通して行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	20件	5件	職員に研修を周知している。しかし全員の参加に至っていない。	職員全員が参加できること、その上で社内での虐待に対する勉強会を行いたい。1年に一回程度の開催を目指したい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	20件	5件	契約時に説明している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				アレルギーに対して、エビペンなど医師の指示書が必要なお子様がない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	25件		毎月の月例会議で共有している。	